

2008年度  
日本ソーシャルワーカー協会年次総会・記念講演会  
開かれる

5月17日 18日に、北海道ソーシャルワーカー協会主管で、札幌コンベンションセンターにおいて次のように催されました。現在の福祉問題に切り込む、非常に奥の深い内容の講演がなされました。そして、百名以上の方が参加されて、成功裡に終了いたしました。



5月17日に、講演として

『三浦綾子の生涯とその想い - 改めて問う「博愛」の精神』

三浦綾子記念文学館

話し手 館長 三浦光世 氏

聞き手 北海道ソーシャルワーカー協会 会長 山崎忠顕 氏

同日、各種委員会

理事会 も行われました

5月18日には

基調提案として

『日本の福祉はこれでよいのか - 今改めてそのあり方を問う』

特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会会長 鈴木五郎氏



講演

『地域移行・自立支援の問題 改革の行方』  
名寄市立大学 教授 忍 博次氏

その後で、総会が行われました

あわせて、世界ソーシャルワークデーの普及活動の一環として、イレーナ・センドラー氏(2006年の国際ソーシャルワーカー連盟会議の開会式で、最も優れたソーシャルワーカーとして特別賞を受賞。ワルシャワでナチスドイツから、ユダヤ人ゲットーから 2500 人の児童を救出した)の紹介がなされた

